

基礎年金には国庫負担(国の税金)が含まれています

国民年金

問合せ 岐阜南年金事務所
☎273-6161

国民年金からは、老齢基礎年金のほか、障害基礎年金、遺族基礎年金が支給されますが、これらの基礎年金には国庫負担(国の税金)が含まれています。

この国庫負担の割合が、法律改正により、平成21年4月以後の加入期間について、これまでの3分の1から2分の1に上げられました。

国庫負担率の引上げと免除制度

国民年金には、経済的に保険料を納めることが困難な方などのため、「保険料が免除される」制度があります。保険料免除では、所得の状況によって、全額、4分の3、半額または4分の1の額の保険料が免除されますが、これらのすべての(4分の1納付、半額納付または4分の3納付が承認された期間については、その保険料が納付済である)免除期間について、保険料を納めたときと同額の国庫負担が支給されます。

平成21年4月分以後の国民年金保険料免除期間がある場合の老齢基礎年金	792,100円×	$\frac{\begin{matrix} \text{保険料} \\ \text{納付済月数} \end{matrix} + \begin{matrix} \text{全額免除} \\ \text{月数} \times \\ \frac{4}{8} \end{matrix} + \begin{matrix} \text{4分の3免除} \\ \text{4分の1} \\ \text{納付済月数} \\ \times \\ \frac{5}{8} \end{matrix} + \begin{matrix} \text{半額免除} \\ \text{半額} \\ \text{納付済月数} \\ \times \\ \frac{6}{8} \end{matrix} + \begin{matrix} \text{4分の1免除} \\ \text{4分の3} \\ \text{納付済月数} \\ \times \\ \frac{7}{8} \end{matrix}}{40 \text{年 (加入可能年数)} \times 12}$
平成21年3月分以前の国民年金保険料免除期間がある場合の老齢基礎年金	792,100円×	$\frac{\begin{matrix} \text{保険料} \\ \text{納付済月数} \end{matrix} + \begin{matrix} \text{全額免除} \\ \text{月数} \times \\ \frac{2}{6} \end{matrix} + \begin{matrix} \text{4分の3免除} \\ \text{4分の1} \\ \text{納付済月数} \\ \times \\ \frac{3}{6} \end{matrix} + \begin{matrix} \text{半額免除} \\ \text{半額} \\ \text{納付済月数} \\ \times \\ \frac{4}{6} \end{matrix} + \begin{matrix} \text{4分の1免除} \\ \text{4分の3} \\ \text{納付済月数} \\ \times \\ \frac{5}{6} \end{matrix}}{40 \text{年 (加入可能年数)} \times 12}$

※両期間ともに免除期間がある場合は、期間に応じて上記の計算割合を分子に組み合わせて計算することになります。

ただし、若年者納付猶予制度と学生納付特例によって免除された期間について追納しなかった場合、基礎年金の受給権には反映されますが、老齢基礎年金の年金額には反映されません。



消防署 犬の用心

羽島郡広域連合 ☎388-1195

外出時の火災を防ぎましょう

5月に入り、いよいよ初夏の季節になりました。今月は、ゴールデンウィークもあり、家族や友達と海や山などの行楽地へと外出される機会が増えるのではないのでしょうか。

皆さんは家を留守にする際、火の元の確認はされていますか。留守宅の火災では、発見が遅れがちになり、大きな火災になる可能性が非常に高いと言われています。大きな火災になれば、当然隣の家に火が燃え移る可能性も高くなります。

火災によってせっかくの行楽シーズンを台無し

しにしないよう、外出前に確認してほしいことが5つあります。

5つのポイント

- ① ガス器具の元栓はしっかり閉めること。
- ② 電気器具のコンセントはしっかり抜くこと。
- ③ タバコの火は必ず消すこと。
- ④ ろうそく、線香の火は必ず消すこと。
- ⑤ 家の周りに燃えやすい物は置かないこと。

火災の発生原因の多いものとして、放火、こんろ、たばこなどが挙げられます。多くのものが、少しの手間や確認で防げるものばかりです。外出する前には必ず5つのポイントを確認して、留守宅を火災から守り、楽しい行楽シーズンを過ごしましょう。

